

第31期 (令和6年6月～令和7年10月)

所沢市民大学

募集案内

仲間と学び 創る喜び！



所沢市民大学は、自ら学ぶ市民の学習の場です

市民大学の理念

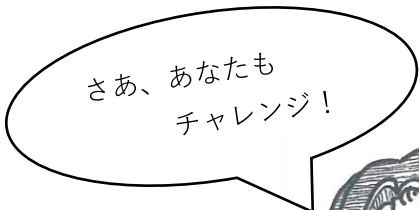
- ・ 市民参加でつくる
- ・ 出会いの場、交流の場をつくる
- ・ 問題を発見し共に考える
- ・ 地域に学びをひろげる

仲間と学び 創る喜び！

所沢市民大学は全体学習（1年次）とグループ学習（2年次）から構成され、約1年半にわたる2年次制の学習講座です。

1年次は修了生の有志（企画委員）が多彩な講座を設定しました。受講生・企画委員・事務局（市職員）の協働により運営していきます。

1年次



●受講生のグループ編成による自主・自立的活動

原則10名の受講生と2名の企画委員でグループが編成され、各グループ単位で自主・自立的に学習に参加していただきます。

●グループ内の役割分担

開講式当日のグループミーティングで、下記の役割を相談しながら決めていただきます。

<主な役割>

- ・グループリーダー グループのまとめ役、連絡会議（月1回）に参加
- ・サブリーダー グループリーダーの補佐役、連絡会議（月1回）に参加
- ・広報担当 受講生らによる機関紙『ところざわ市民大学通信』のとりまとめ
- ・移動学習担当 担当企画委員とともに「移動学習」の企画・運営
- ・課外授業担当 担当企画委員とともに「課外授業」の企画・運営
- ・レクリエーション担当 担当企画委員とともに「自由企画」や「修了パーティー」の企画・運営

開講式



学長（教育長）挨拶

『ところざわ市民大学通信』

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
2024年6月6日(木) 開講式 オリエンテーション	開講式（学長：所沢市教育委員会教育長） オリエンテーションでは、グループ活動と役割など今後の活動について説明します。
6月13日(木) 特別講座 文化財保護課職員	「所沢の歴史と文化」 所沢はどのような地域なのか、歴史や文化から基本的なことを学びます。
6月20日(木) 6月27日(木) 音楽 (2年次対象科目) 笠松 泰洋 (作曲家・演奏家)	「人類と音楽」 1日目 「世界の音楽は、根本で繋がっている」 2日目 「西洋音楽はどうして発展したのか」 人類が誕生して世界に広まり、それと同時に音楽も世界に広がりました。現在急速に発達した遺伝子解析と発掘考古学の視点も取り入れて、世界の音楽は、独自のものというより、繋がっていたものだけということが見えてきています。それに基づいて、西洋の音楽が再び世界を席卷している流れも解説します。
7月4日(木) 文学① (2年次対象科目) 清原 康正 (文芸評論家)	「池波正太郎の魅力」 池波正太郎の作品や、作品を通しての作家の魅力をご紹介します。
7月11日(木) 自由企画	受講生は入学後にグループに分かれ、グループ単位を基本に活動します。 この日は各グループで自由な計画を立てて共に学習し、親睦を深めます。
7月18日(木) 文学② さいとう なおこ (三ヶ島葎子研究家)	「歌人 三ヶ島葎子 ～逆境に生きて～」 生涯に6,000首余りの短歌を残した三ヶ島葎子の人生は、結核、貧困、孤独との闘いでした。そんな大正期を代表する歌人三ヶ島葎子が、40歳7か月で没するまでに命を削るようにして詠んだ作品を通して逆境における生き方をご一緒に考えてみたいと思います。
7月25日(木) 福祉 (2年次対象科目) 李 泰俊 (早稲田大学 人間科学部非常勤講師)	「超高齢社会に求められる社会福祉の役割とは」 社会福祉は、現代社会の成り立ちにおいて欠かせないキーワードで、制度やサービスを通して社会的要求の受け皿として機能しています。 本講座では、超高齢社会における社会福祉の課題と役割を概観しながら、超高齢社会を生きていくために求められる「能動的福祉」について考えます。
9月5日(木) 私たちの暮らしとAI技術 大谷 紀子 (東京都市大学 メディア情報学部教授)	「AIの基礎と自動作曲」 近年、AI技術は目覚ましい発展を遂げ、私たちの暮らしと切り離せない存在になりつつあります。本講座では、人間とコンピュータの違いについて考えるところから始め、AIの歴史を振り返りつつAIの基礎を解説した後、応用事例として自動作曲に関する研究を紹介します。

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
9月12日(木) 古典芸能（落語） 富岡落語研究会	「落語への誘い」 1. 分類（江戸と上方、古典と新作、オチ・・・） 2. 歴史（起源、発展、現在） 3. 決まりごと（衣装、出囃子、小道具、上・下、・・・） 4. 入門・修行（入門、真打制度、協会） 5. 鑑賞（都内の代表的寄席（定席）、ホール・・・） 6. 実演（富岡落語研究会員より最低2-3席お笑い申し上げます） 7. 質疑応答
9月19日(木) 児童虐待 根岸 弓 （東京都立大学助教）	「児童虐待と非行」 児童虐待のニュースが絶えない。私たちは親に憤り、子どもの不憫さに胸を締め付けられる。しかし、虐待に至るまでの経緯を見ると、長い間支援から取りこぼされてきた親子の姿がある。また、「問題のある子ども」と見られがちな非行の背景に、被虐待経験のあることも分かってきた。 虐待の背景を知り、罰するだけでは解決しない問題への、あるべき支援を考えてみませんか。
9月26日(木) 10月3日(木) 所沢の歴史 （2年次対象科目） 門内 政広 （文化財保存全国協議会会員）	「所沢の魅力、再発見の旅」 1日目「谷戸（やと）のある生活」 2日目「古道からみる古（いにしえ）の所沢」 1日目の講座は、狭山丘陵の谷戸をはじめ、自然との関わりの中で生まれ、育まれてきた先人の文化に目を向けます。 2日目の講座は、「東山道武蔵路（とうさんどうむさしみち）」、「鎌倉街道」、「江戸道」などの所沢を通過していた古道に着目しながら所沢の魅力を再発見します。
10月17日(木) 所沢の農業 （2年次対象科目） 淵野 雄二郎 （東京農工大学名誉教授）	「市民的食農システムの可能性と課題」 所沢市の地理的・地域的特性の下で展開する多様な農業経営の継続、持続的な農業発展の道筋を考察する。 特に、①ポストコロナを見据えて展開する食と農の再生のための多様な取り組みに注目し、②市民や消費者組織、福祉団体などが農業・農地保全にどこまで関わられるのか、その可能性と課題を明らかにする。
10月24日(木) 移動学習	バスを利用して社会科見学を予定しています。 学びと受講生同士の親睦を深めます。 ※自由参加
10月31日(木) 11月7日(木) 地域の自然 （2年次対象科目） 正田 浩司 （大東文化大学非常勤講師）	「所沢市周辺の地形発達と自然の歴史」 所沢市周辺の地形（丘陵や台地、柳瀬川沿いの低地など）はどのようにしてできてきたのか？また植生はどのように移り変わってきたのか？身近な自然の歴史について考えます。色塗りの作業も少しおこないながら、具体的なイメージがつかめるようにします。

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
11月15日(金) 古典芸能 (能楽) (2年次対象科目) 竹内 好夫 (能楽研究家)	「能の魅力を発見する」 能は室町時代に観阿弥・世阿弥父子により大成され、650年以上の歴史をもつ我が国伝統芸能の本流です。本講座では、能の歴史を概観し、能を構成するもの＝物語・謡(うたい)・舞い・面・衣裳・能舞台などの特色を理解すると共に、「謡」と「仕舞」に挑戦し、能楽を楽しむ基礎的素養を会得します。
11月21日(木) 健康スポーツ 樋口 満 (早稲田大学スポーツ科学学術院 名誉教授)	「動楽と食楽で健康長寿」 ミドル～シニア・エイジにとって、健康の保持はQOL(Quality of Life;生活の質)を高め、生きがいのある生活を送るための基盤である。しかもつ面でなく、仲間とともに楽しく行うことが健康づくり継続の秘訣である。健康づくりの2本柱は運動と食事であり、私はそれを“動楽と食楽”と言っている。本講座では、健康長寿の必須アイテムである“動楽と食楽”について学習する。
11月28日(木) 埼玉県警 県政出前講座	特殊詐欺被害防止ワークショップ講座
12月5日(木) 食の安全 高橋 久仁子 (群馬大学名誉教授)	「食べもの情報ウソ・ホント～要注意!!フードファディズム」 健康に関連するウソもホントも入り混じる食の情報に惑わされていませんか。フードファディズムとは食べものや栄養が健康や病気に与える影響を過大に評価・信じることです。これをキーワードとして、ちまたにあふれる食情報を点検してみましょう。
12月12日(木) 脳の科学 阿部 和穂 (武蔵野大学薬学部教授)	「脳を知り、脳の衰えを防ぐ」 普段私たちは自分の頭の中にある脳がどんな働きをしているか意識することは少ないですが、認知症などを考えたとき、脳の働き、そしてそれを衰えさせないためにはどうすればよいか知りたくなるに違いありません。今回の講座ではその手助けとなる情報を提供します。

◆ 1日の流れ

- 9:15 生涯学習推進センター到着 出席簿をチェックして教室へ
- 9:30~11:30 **講義**
- 11:30~12:15 **グループミーティング**
 グループごとに各教室へ移動
 講義の感想や各担当からの連絡をみんなで共有
 終了後、流れ解散

※ 課外授業や各委員会は午後に行われます

今日は委員会の会議だから、
帰りは夕方頃になるかな

私はグループミーティングが
終わったらすぐ帰るよ



《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
2024年12月19日(木) 地球環境 北野 大 (秋草学園短期大学 学長兼理事長)	「地球温暖化と新たなライフスタイルの提言」 地球環境問題は「原因及び被害が複数の国にまたがるため、一か国のみの対策では対処しえない環境問題」と定義される。中でも地球温暖化は被害の種類及び影響の範囲が極めて大きいという特徴を有する。 また、温暖化問題はエネルギー問題という見方が必要であり、ここではどのようなエネルギーを選択するか、またどのようにエネルギーを利用するかが問われている。本講義ではこれらの解説とともに、新たなライフスタイルを提言する。
2025年1月9日(木) 美術 斎藤 陽一 (美術ジャーナリスト ・元NHKプロデューサー)	「モネの日本～触発から創造へ～」 2024年10月5日～2025年2月11日まで国立西洋美術館（上野）で特別展「モネ～睡蓮のとき～」が開催されるのを機に、この講座では、モネと浮世絵との出会い、咀嚼から創造への過程、さらには「印象主義とは何か」を多彩な画像によって浮き彫りにします。
1月16日(木) 日本の外交 茂木 貴 (国際情勢アナリスト)	「世界の動きと日本 日本の外交を中心に」 2024年は「選挙の年」といわれます。台湾総統選挙はすでに終了しましたが、2月インドネシア大統領選挙、3月ロシア大統領選挙、4月韓国総選挙、5月インド総選挙、そして11月アメリカ大統領選挙です。最大の注目はアメリカでトランプの復活があるのかですが、どれもが世界と日本に大きく影響する選挙です。各国の動向を注視しながら日本の対応を考えていきましょう。
1月30日(木) イスラームを知る 吉村 武典 (大東文化大学 国際関係学部准教授)	「イスラームの宗教・歴史・文化とムスリムの暮らし」 現在、イスラーム教徒の人口は、世界全体の約25%、19億人に達しており、2050年には25億人を超えると言われていています。しかし、日本ではイスラームに触れる機会はまだまだ少ないと言えます。本講義では、イスラームの歴史と文化について基礎的な解説を行い、イスラームとそれを信仰する人たちの日常の暮らしについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

※テーマ・学習内容は変更となる場合があります

市民大学の活動いろいろ

富岡製糸場(29期見学)



＜移動学習＞
バスで社会科見学へ
見学先は毎年異なります

＜課外授業＞
受講生が先生になって講義



＜修了パーティー＞
1年次・2年次の区切りに
実施しています。

2 年 次

7講座（音楽・古典芸能・地域の自然・所沢の農業・所沢の歴史・福祉・文学を予定）に分かれてのグループ学習になります。

受講生を中心に学習し、月1回ほど講師の指導日があります。

講座ごとに学習の進め方は違いますが、2年次の前半はフィールドワークが中心です。

所沢市内を散策して自然や歴史に触れたり、作家にゆかりのある場所を訪ねたり…。

後半はこれまでの学習成果をまとめ、『グループワーク発表会』の準備をします。

また、31期での学習のまとめとして『学びの記録』を作成する予定です。

グループ学習（一例）



<音楽グループ>

講師のアドバイスを受けながら学習を深めます



<所沢の歴史グループ>

市内を巡り、所沢の魅力を再発見！

グループワーク発表会

学習の成果を発表します。



閉講式



受講生の代表が修了証書を授与

学びの記録



これまでの学習をまとめた冊子
受講生で作ります

大変なこともありますが、
発表会や学びの記録が完成した
ときの達成感はひとしおです！



＜ 募 集 要 項 ＞

- 【期 間】** 1年次 2024年6月（開講式は6月6日）～2025年2月
 2年次 2025年2月～10月
- 【曜日・時間】** 原則として木曜日 9時30分～12時15分
 木曜日以外の講座 11月15日（金）
- 【主な会場】** 所沢市生涯学習推進センター（所沢市並木6-4-1）
- 【定 員】** 70人
 ＊応募者多数の場合は、初めて受講する方を優先とした公開抽選を行います。
 抽選日時：2024年4月25日（木） 午前10時00分～
 抽選会場：所沢市生涯学習推進センター
- 【対 象】** 市内在住（在勤・在学も可）でかつ**2年次まで受講可能な方**
 ＊特定の単独講座のみの受講や、1年次のみ受講の応募はできません。
- 【費 用】** 1年次 7,000円（受講料5,000円＋運営費2,000円）
 2年次 7,500円（受講料5,000円＋運営費2,500円）
 ※2年次の運営費は、変更の可能性があります。
 ＊その他に、交通費等の実費負担があります。
- 【応募方法】** ・電子申請（所沢市ホームページ内、又は下記2次元コード）
 ・往復はがきにて所沢市生涯学習推進センターへご応募ください。

◇往復はがきの記入例（お一人1枚のみ）

往信＜外側＞返信の裏面となる右側は **返信**＜内側＞ 右側は往信の裏面↓

記入なし白紙のまま↓

（中央で谷折りにしてください。）

往	359-0042	
	所沢市並木六―四―一 生涯学習推進センター 市民大学担当 行	

返	〒郵便番号	
	受講希望者の住所 受講希望者の氏名 様	
	⑤ 性別	① 住所
	④ 年齢	② 氏名（ふりがな）
	③ 電話番号	

電子申請↓



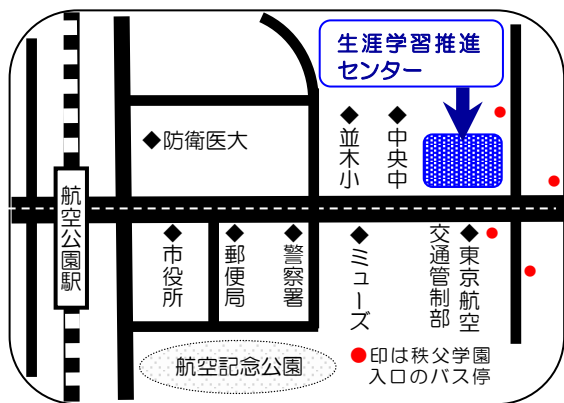
【応募締切日】 2024年4月16日（火） 必着

【問合せ先】 所沢市生涯学習推進センター（祝日を除く午前9時～午後5時15分）

所沢市並木6-4-1

☎ 04-2991-0303

FAX 04-2991-0306



■交通 西武新宿線「航空公園駅」東口から

・徒歩約17分（1.3km）

・西武バス約5分、

いずれもバス停『秩父学園入口』下車

「並木通り団地」行き 東門すぐ

「新所沢駅東口」行き //

「エステシティ所沢」行き 徒歩5分

「所沢駅東口」行き //

・地図内 ●印は秩父学園入口のバス停